

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：老人福祉費

事業名 高齢者相互支援推進・啓発事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 高齢福祉課 長寿社会推進係 電話番号：058-272-1111(内3465)

E-mail : c11215@pref.gifu.lg.jp

1 事業費

771 千円 (前年度予算額：

762 千円)

＜財源内訳＞

区分	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	分担金負担金	使用料手数料	財産入	寄附金	その他	県債	一般財源
前年度	762	381	0	0	0	0	0	0	381
要求額	771	385	0	0	0	0	0	0	386
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

老人クラブが取り組んできた「友愛活動」の実績を活かしながら、県老人クラブ連合会による、「高齢者相互支援活動（介護や家事等の援助活動）」を通じて、高齢者自らの長寿社会における役割の発揮を促進し、「活力あふれる豊かな長寿社会」の実現を目指す。

(2) 事業内容

県老人クラブ連合会の指定した市町村老人クラブ連合会において、元気な老人クラブ会員がひとり暮らしや寝たきりの高齢者の介護や家事援助、対話等を行うために必要な援助技術の習得を目的とした研修を行う。また地域包括支援センターを中心とした地域のネットワークと連携のうえ、地域の要援護高齢者の家庭を訪問して実践活動を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

国1/2、県1/2

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	771	県老人クラブ連合会が実施する高齢者相互支援推進・啓発事業に対する助成
合計	771	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「岐阜県高齢者安心計画」第4章第3節－1 高齢者の生きがい・健康づくりの推進

(2) 国・他県の状況

都道府県老人クラブ連合会は「生活を豊かにする楽しい活動」、「地域を豊かにする社会活動」を目的として全ての都道府県に設置済。

(3) 後年度の財政負担

引き続き、県域組織である岐阜県老人クラブ連合会への活動支援を通じて明るい長寿社会づくり、高齢者の保健福祉の向上に努めていく。

(4) 事業主体及びその妥当性

事業主体：県老人クラブ連合会

妥当性：国、県、市町村老人クラブ連合会との相互連携機能や、事業のノウハウを有しており、効率・効果的な事業実施が図られている。

事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

元気な老人クラブ会員がひとり暮らしや寝たきり高齢者の介護や家事援助、対話等を行うために必要な援助技術の習得を目的とした研修を行い、友愛訪問のリーダーの多数存在する地域を構築する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

国、県による補助事業であり、県老人クラブ連合会の安定的な運営及び事業活動の支援を目的とするものである。

(これまでの取組内容と成果)

令和 4 年 度	地域の一人暮らし高齢者や寝たきり高齢者等を対象に、対話・家事援助、交流の場づくり、情報提供等を目的とした友愛訪問を実施するとともに、研修会の開催及び参加を通して、高齢者相互支援の必要性の機運を醸成させた。
	指標① 目標： 実績： 達成率： %
令和 5 年 度	地域の一人暮らし高齢者や寝たきり高齢者等を対象に、対話・家事援助、交流の場づくり、情報提供等を目的とした友愛訪問を実施するとともに、研修会の開催及び参加を通して、高齢者相互支援の必要性の機運を醸成させた。
	指標① 目標： 実績： 達成率： %
令和 6 年 度	地域の一人暮らし高齢者や寝たきり高齢者等を対象に、対話・家事援助、交流の場づくり、情報提供等を目的とした友愛訪問を実施するとともに、研修会の開催及び参加を通して、高齢者相互支援の必要性の機運を醸成させた。
	指標① 目標： 実績： 達成率： %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	少子高齢化によりひとり暮らし等の高齢者が増加する中、県老人クラブ連合会が実施する友愛訪問研修は、安心安全なまちづくりに不可欠な事業である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない
(評価) 2	新たにリーダーを計画的に養成し、地域における社会貢献活動が継続できる体制となっている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている
(評価) 1	岐阜県老人クラブ連合会にはこれまでの事業の実施からノウハウの蓄積があり、効率化は図られている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

今後も安定的に事業を実施する。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

ひとり暮らし高齢者、寝たきり高齢者等を地域で支える活動は重要であり、補助を継続する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	